



報道関係者 各位

NPO法人 放送批評懇談会

発表！2025 年 4 月度ギャラクシー賞月間賞

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで 62 年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2025 年 6 月上旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963 年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。放送の専門誌・月刊「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CM を顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース（<https://houkon.jp/galaxy-database/>）」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

Facebook



X (旧Twitter)



Instagram



<お問い合わせ先>

NPO法人 放送批評懇談会

MAIL : kondankai@houkon.jpHP : <https://www.houkon.jp/>



2025 年 4 月度ギャラクシー賞月間賞

有吉クイズ「ハチミツ二郎と電動車椅子さんぽ」

3 月 30 日、4 月 6 日放送 テレビ朝日

電動車椅子ユーザーであるハチミツ二郎の発案で行われた「電動車椅子さんぽ」。近年、著しく向上した操作性で、初めて電動車椅子に乗る有吉弘行も快適に商店街を進む。笑いのなかに学びもあり、障害者や高齢者だけでなく健常者も含め、気軽に車椅子で外出するという、よりよい未来像を自然体で提示していた。

NHKスペシャル「オンラインカジノ “人間操作” の正体」

4 月 20 日放送 日本放送協会

オンラインカジノ問題を 3 年にわたり取材し、さまざまな事実が積み重ねられた内容からは、想像を超える「依存症を生む仕組み」を目の当たりにすることになった。個人のデータを基に意図的に仕組まれた“人間操作”は他人事ではなく、身近に起こりうるという恐ろしさが伝わった。早急な具体的対応の必要性を改めて認識させる番組。

NNNドキュメント' 25「あの日、私も怖かった サリン、放射線と戦った自衛官」

4 月 20 日放送 日本テレビ放送網

地下鉄サリン事件と福島第一原発事故の両方において、最前線で任務に対応した元自衛官の生の声から、自身の命の危険を目の前にした恐怖が率直に伝わる。現場に携わった人の声を直接聞くことはこれまでほぼなかったため、貴重な機会になった。ドキュメンタリーによる「生の声」の記録は貴重だと改めて感じた。

土曜ドラマ「地震のあとで」

4 月 5 日、12 日、19 日、26 日放送

日本放送協会 NHKエンタープライズ キアロスクロ

阪神・淡路大震災から 30 年の今年、地震によってもたらされた喪失、不安、変化など人々の意識の深層を照らし出す村上春樹の同題作の映像化に真っ向から取り組んだ。東日本大震災と現代も視野に含んだ脚本、原作のイメージを探るシーンの数々。原作ファンが気になった「かえるくん」のビジュアルと声も納得のクオリティだった。

★詳細は月刊誌「GALAC」2025 年 7 月号に掲載します